

## 事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

### 1 事業者等の概要

氏名又は名称	NSKマイクロプレジジョン株式会社							
代表者名	氏名	石井 俊和	役職名	代表取締役社長				
主たる事務所の所在地	長野県 下伊那郡 松川町 元大島 2953							
主たる事業の分類	大分類	E 製造業						
	中分類	25 はん用機械器具製造業						
主たる事業の概要	259 その他のはん用機械・同部分品製造業 2594 玉軸受・ころ軸受製造業の内、玉軸受製造業							
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者						
原油換算エネルギー使用量	3285	kl	その他ガス排出量合計	0	t-CO <sub>2</sub>	自動車の台数	2	台

### 2 計画期間及び報告対象年度

計画期間	26	年度	～	28	年度	報告対象年度	28	年度
------	----	----	---	----	----	--------	----	----

### 3 計画書（報告書）の公表方法等

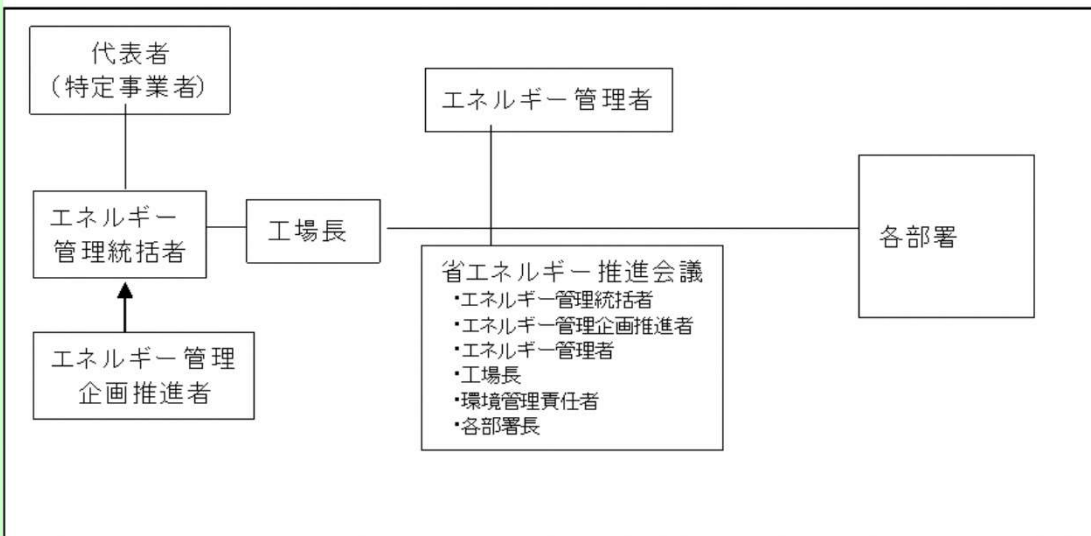
<input type="checkbox"/>	ホームページ	
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	NSKマイクロプレジジョン株式会社松川工場 受付窓口にて閲覧可 閲覧可能時間帯 平日 8:00～16:45 連絡先 0265-36-3315（管理課）
<input type="checkbox"/>	その他	

#### 4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

エネルギーの使用の合理化によって、省エネルギー及び資源の有効利用と、地球温暖化防止を目的とした温室効果ガス排出量の抑制に努める。

#### 5 温室効果ガス排出抑制のための組織体制

##### エネルギー管理組織(温室効果ガス排出抑制対策組織を兼ねる)



- 代表者(特定事業者) : 代表取締役社長  
エネルギー管理統括者 : 専務取締役工場長(兼 温暖化対策総責任者)  
エネルギー管理企画推進者 : 製造部付課長(兼 温暖化対策事務局)  
エネルギー管理者 : 設備課(兼 温暖化対策担当者)

様式1号  
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	6,469	t-CO <sub>2</sub>	生産数量	193	単位	百万個	
25年度	調整後排出量	4,776	t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	33.50	t-CO <sub>2</sub> /	百万個	
目標年度	目標排出量	6,274	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	32.49	t-CO <sub>2</sub> /	百万個	寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
28年度	目標削減率	3.01	%	目標削減率	3.01	%		
目標設定に関する説明	原単位を年当たり1%ずつ低減する。							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	6,605	t-CO <sub>2</sub>	生産数量	199.77	単位	百万個	
	調整後排出量	6,556	t-CO <sub>2</sub>	原単位	33.06	t-CO <sub>2</sub> /	百万個	寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
26年度	削減率	(2.11)	%	削減率	1.31	%		
排出量等の増減理由	空調機の更新、エア漏れ対策等を実施。							
第二年度	排出量	6,670	t-CO <sub>2</sub>	生産数量	195.87	単位	百万個	
	調整後排出量	6,633	t-CO <sub>2</sub>	原単位	34.05	t-CO <sub>2</sub> /	百万個	寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
27年度	削減率	(3.11)	%	削減率	(1.65)	%		
排出量等の増減理由	年度全体としては受注が減少方向で推移していたものの、突発的に発注が増加するといった事象が発生したため、生産に必要な最低限の設備とは別で、急な増産に対応するための待機設備が生じたことによる生産効率の悪化が原因と考えられる。							
第三年度	排出量	6,828	t-CO <sub>2</sub>	生産数量	197.00	単位	百万個	
	調整後排出量	6,777	t-CO <sub>2</sub>	原単位	34.66	t-CO <sub>2</sub> /	百万個	寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
28年度	削減率	(5.55)	%	削減率	(3.47)	%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由	目標を達成できなかった。増減理由としては、市場の急激な需要減少に伴い上期は生産数が大きく減少したため、原単位が著しく悪化した。下期では需要の増大で増産となったが、生産能力の関係もあり上期に悪化した原単位を改善させるほど通期の総生産個数が伸びなかった。また、上期に実施した生産ラインの整理集中化工事に伴う工場内空き区画(生産ライン設置予定場所)への空調機および、集塵機等の付帯設備増設による消費電力増加も原単位を悪化させた。							

様式1号  
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位		
25年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /		
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位		
年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位		
年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位		
年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号  
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	2.292	t-CO <sub>2</sub>			
25年度						
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%
年度						
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%
年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%
年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%
年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号  
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		実績	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO <sub>2</sub> )	実施年度	推計削減量 (t-CO <sub>2</sub> )
1	エネ起	330299 断熱塗料の塗布	H28	21.3		
2	エネ起	330299 空気調和設備の更新	H26~28	28.7	H26	13.5
3	エネ起	360705 空気漏れ箇所の修理	継続	8.4	H26	15.9
4	エネ起	360799 配管系の変更及び吐出圧の低減	H26	8.2		
5	エネ起	380751 高周波点灯方式の蛍光管の導入	継続	2.1	H26	0.08
6						
7						
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO <sub>2</sub>					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO <sub>2</sub>					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO <sub>2</sub>					
県が認証したクレジット	tCO <sub>2</sub>					
電気の利用に伴うもの	tCO <sub>2</sub>	1693		49	37	51
低炭素電力の利用	tCO <sub>2</sub>					

様式1号  
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出状況 (所、t-CO<sub>2</sub>)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	1	6,469	1	6,605	1	6,670	1	6,828
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満								
合計	1	6,469	1	6,605	1	6,670	1	6,828

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出状況 (t-CO<sub>2</sub>)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>	0	0	0	0
CH <sub>4</sub>	0	0	0	0
N <sub>2</sub> O	0	0	0	0
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF <sub>6</sub>	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数及び導入計画 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0	0	0
電気自動車	0	0	0	0
燃料電池自動車	0	0	0	0
クリーンディーゼル自動車	0	0	0	0
その他	0	0	0	0
合計	0	0	0	0
自動車総数	2	2	2	2
次世代車導入割合				

様式1号  
(総括票)

1.4 中小企業支援

区分	内容
中小企業への省エネ診断	特になし
その他	

1.5 交通対策

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	マイカー通勤率は約96%。秋の一斉行動週間に参加し、ノーマイカー延べ169人参加(13%)(1週間)。2月冬の一斉行動週間に参加し、ノーマイカー延べ194人参加(15%)(1週間)。
公共交通機関の利用促進	鉄道運行数が少ないため利用者なし。(バスも同様)
来客者の交通対策	事前連絡により高速バス停への送迎を実施。
物流の合理化	一部、折りたたみ式のプラスチック箱を使い、部品の運送に再利用している。

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1	ISO14001	2004年
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	空調機更新、エア使用量削減、進相コンデンサ取付け、油水分離装置更新
第一年度実績	空調機更新、エアドライヤ更新、生産性向上等
第二年度実績	空調機更新、エアドライヤ更新、コンプレッサ更新等
第三年度実績	空調機更新、エアドライヤ更新、照明器具LED化等

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO <sub>2</sub> )
基準年度以前の取組み	エア使用量削減、エアドライヤ更新、コンプレッサ更新、ルーフファン導入、遮熱塗料の塗装、蛍光灯の間引き、クーラントポンプ小型化、等	302.3
その他		